

お母さんのおにぎり

茂原市立東部小学校

五年

菊地

柚杏

私は、お母さんの作るおにぎり大好きです。朝早く出かけるときや、運動会のお弁当、遠足の日など、いろいろな場面でお母さんはおにぎりを作ってくれます。

朝の時間が早い時は、「コンビニのおにぎりでもいい？」と聞かれるけど、私はいつも「いやだ。」お母さんのにして。」と答えます。お母さんは少しめんどうくさそうな顔をしな

がらも、結局は作ってくれます。そして、「やっぱりお母さんのおにぎりが一番おいしい。」と私が言うとお母さんはちょっと照れたように笑います。

そんなお母さんのおにぎりには、小さなエ夫がたくさんあるそうです。炊き立てのホカホカのご飯を、切るようにさっくり混ぜてむらすこと。熱々のうちににぎること。そうすると、ふんわりと甘みが引き立つのだそうです。そして、手にほんの少しだけのお塩。食

べやすい大ききのり。どれも小さな工夫だけれど、集まると、とってもおいしい。お母さんの味になるのです。

でも、お母さんが一番大切にしているのは「お米」です。うちではずっと、北海道の「ゆめぴりか」というお米を食べています。ゆめぴりかは、つやつやしていて甘みがあり、冷めてもおいしいのでおにぎりにぴったりなのだそうです。「このお米だから、おにぎりがおいしいのよ。」とお母さんは言います。

「どうしてゆめぴりかなの？」とお母さんに聞いたら、「北海道のお米だからよ。」と言いました。実は、北海道には、私のおじいちゃんがか住んでいました。もう亡くなってしまったけれど、おじいちゃんには田んぼでお米を作っていたそうです。お母さんはよく「おじいちゃんのお米が一番おいしかった。」と話してくれます。私はおじいちゃんのお米を食べたことがないけれど、お母さんのおにぎりを食べるとうまい。おじいちゃんのお米も、きっとこんな

ふうにおいしかったのかな。と思います。

だけど、最近はお米不足でゆめぴりかが手に入らないことがありました。そのとき近所のJAで買った地元のお米を食べてみたら、思っていたよりずっとおいしかったです。私は、ゆめぴりかじゃなくて、いろんなお米を食べてみるのもいいな。と思いました。それでも、やっぱりお母さんは、ゆめぴりかの方がおいしいのよ。と言います。私は、お母さんがおにぎりにすれば、どんなお米でもおい

しくなるんじゃないかな。と思いました。

お母さんのおにぎりを食べると、私は元気になります。お米そのもののおいしさに加えて、お母さんの工夫や気持ちが入っているからだと思います。きっとおじいちゃんのお米も、そんなふうに家族を笑顔にしていたのだと思います。私も将来、自分の子供に、お母さんのおにぎりが一番。と言ってもらえるようになりたいです。